

令和6年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策 体系	分 野	11 スリムで効率的な行政経営		
	施 策	41 経営資源（金銭的資源）		
重点プロジェクト				
総合戦略				
主 管 課	総合政策部 財政課	評価責任者	金子 明	
		評価日	令和7年6月2日	
関 連 課	収納課			
目 標	社会情勢の的確な把握と分析に基づいた財政見通しの下、事務事業の「選択と集中」により、健全で持続可能な財政運営を推進します。また、行政サービスを安定して提供できるよう、市税収入を安定的に確保するとともに、新たな自主財源の創出に努めます。			
施策目標の実現 に向けた取組	(1) 健全財政の推進 ○安定した財源の確保と「選択と集中」による歳出の効率化を図ります。 ○有利な地方債の活用を図りつつも、将来世代の負担を考慮した計画的な公債費の管理に努めます。 ○公共施設等の適正な維持管理及び更新等により、施設の長寿命化及び財政負担の平準化を図ります。 ○将来の行政需要に対応するため基金の計画的な積立てと繰入れを行います。 ○公金の運用は、金融情勢等をしっかり把握し、安全性と流動性を十分に確保した上で、効率的かつ有利な資金運用を図ります。			
	(2) 自主財源の確保 ○市税の適正かつ公正な課税を行うとともに、納税者意識の高揚を図るため、市民に分かりやすく課税情報を提供します。 ○市税の収納率を向上させ、市債権を適正に管理するため、徴収体制の強化を図ります。 ○広告料収入の拡大など、新たな自主財源の確保に努めます。 ○使用料、手数料などの受益者負担の適正化を図ります。			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	経常収支比率 ※減少を目指す指標						
		説明	財政の弾力性を占めず割合。人件費や扶助費等の義務的経費や物件費等の経常経費の増加が経常収入の増加を上回っていることにより上昇傾向である。						
		単位	%						
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値	96.60	96.30	96.00	96.00	95.80	95.20	95.00
		実績値	99.50						
	指標2	指標名	市税の収納率						
		説明	催告の強化や効率的かつ効果的な差押の執行など徴収対策の取組強化により上昇傾向である。						
		単位	%						
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値	99.34	99.35	99.35	99.35	99.36	99.36	99.36
		実績値	99.51						
	指標3	指標名							
		説明							
		単位							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							
	指標4	指標名							
		説明							
		単位							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							
	指標5	指標名							
		説明							
		単位							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	5,758,368	0	0	0	0	0	0
	人件費	429,236	0	0	0	0	0	0
収入	特定財源	1,034,971	0	0	0	0	0	0
	一般財源	5,152,633	0	0	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

	実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	健全で持続可能な財政運営の推進	財政状況の分析や担当課とのヒアリングを行い、効果的な予算編成を行うとともに、有利な地方債の活用を図り、持続可能な財政運営を推進した。	将来構想の実現に向け、健全で持続可能な財政運営の推進が図られた。
取組②	市民に分かりやすい財政運営の推進	「統一的な基準による財務書類」を作成した。また、分かりやすい財政状況の公表として、「ふじみ野市のお金の使いみち」を市ホームページに掲載した。	「統一的な基準による財務書類」を作成したことにより、財政運営における課題等を整理し、他市と比較分析することが可能となった。また、財政状況を分かりやすく公表することにより、市民の納税や市財政運営への理解を深めることに寄与した。
取組③	市税の徴収対策の取組強化	年間徴収計画を作成し、計画的に徴収対策に取り組んでおり、督促状発布後にSMS催告を実施し、早期着手に取り組んだ。また、文書催告書（期別・一斉）は納税の理解を得られるよう文面を工夫し、再発行納付書や警告チラシを同封するなど効果的な催告書の送付を実施した。	年間差押件数は1,711件であり、それに伴う換価金額は105,073千円を達成した。
取組④			
取組⑤			

5. 評価

評価	
指標の達成状況	地方債の残高は、令和6年度末現在で約350億円になっており、引き続き高い値となっている。 さらに、既存公共施設の老朽化が進んでおり、計画的な修繕、更新等を行っていく必要がある。 これらの課題に対応するため目標額を設定し公共施設整備基金及び減債基金を積み立てており、基金の令和6年度末現在高（出納整理期間中の積立金を含む。）は、約149億円となっている。 将来構想の実現に向け、健全で持続可能な財政運営を推進していくため、社会情勢の的確な把握に努め、財務書類や経常収支比率、将来負担比率などの指標を活用した分析により、財源の効果的な運用や地方債と基金の適切なバランスを継続的に確保していくこと、併せて事務事業の継続的な見直しを行い効果的な支出を行うことが必要である。また、市民に分かりやすい財政状況の公表を継続して推進し、財政運営についての理解を広げる必要がある。
おおむね順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	